

# JHPの活動・歩み

1990	イラクに入国できず、ヨルダンにて活動。
1991	JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援を学生達とイランで実施した。小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
1992	タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
1993	9月15日にJIRACの中から「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。 カンボジア活動隊派遣開始（以降年2～3回を継続）。（写真A）
1994	JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣。
1995	阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始。（写真B） カンボジアにプノンペン事務所設置。旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣。
1996	音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名を派遣。 アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始。
1997	4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。 地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。
1998	カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ。（写真C）
1999	美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催。
2000	10月に東京都より特定非営利活動法人（NPO法人）の認証を受け、11月に登記完了。 プノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。
2001	JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。 カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。
2002	ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣。 JHP初の孤児院完成。CCH（幸せの子どもの家）支援開始。（写真D）
2003	JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、100棟目の校舎完成。
2004	1月1日に日本で19番目に国税局より認定NPO法人の認知を受けた。 新潟水害、中越地震の支援活動実施。
2005	カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施（以降年1回実施）。 三宅島帰島ボランティア支援活動に参加。
2006	JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート。 小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開催。 代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受章。
2007	設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演。
2008	1人1万円の呼びかけで631人が賛同し、200棟記念校舎が完成。 代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞。
2009	国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生（ともいき）・地域文化大賞を受賞。 新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施。
2010	アカウンタビリティ・セルフ・チェック2008を実施。 学校建設の実績が250棟超える。
2011	東日本大震災発生（3月11日）。仙台市若林区、南三陸町にて支援活動を行う。 平成23年度外務大臣表彰を団体として受賞。（写真E） JHP初となるネパールでの学校建設を開始する。
2012	JHP創設者の一人で元副代表の二谷英明氏が1月7日に逝去する。 公益財団法人かめのり財団より、「第5回かめのり賞」の表彰を受ける。
2013	JHP行動基準が制定される。（詳細は裏表紙を参照） JHP初となるネパールでの校舎が2棟完成し、贈呈式を行う。 300棟記念校舎が完成。（写真F）
2014	2月24日に東京都より認定NPO法人の認定を受けた。 設立20周年を祝う、記念の集いを開催。 教育支援事業の充実を目指した「ドレミとアート基金」設立。目標300万円を達成。
2015	外務省日本NGO連携無償資金協力の助成事業に採択される。
2016	熊本地震発生。益城町への継続支援を実施。（4月～） JICA草の根技術協力事業「カンボジア王国 初等科芸術教育支援事業」が開始される。（8月）
2017	ASACカンボジアに学校を贈る会より識字教育事業を継承。2018年9月から教室開講。

## JHPの理念

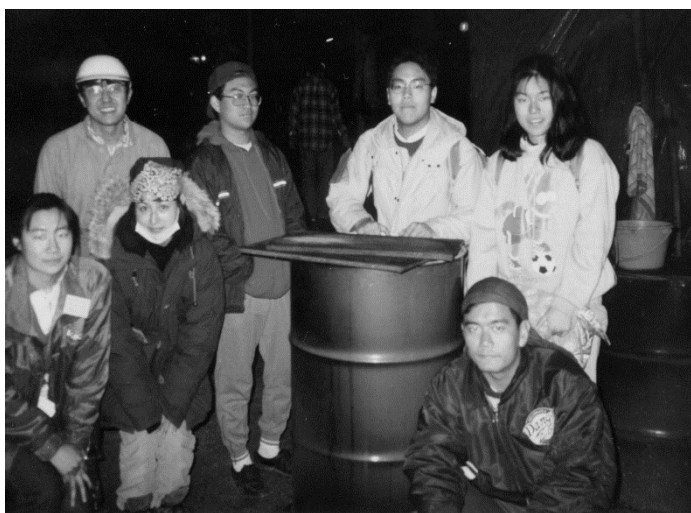
JHPは、戦争や自然災害で教育の機会を奪われた世界の子ども達に、人種、国籍、宗教、その他の信条の違いにかかわらず広く教育等の援助を行ない、また紛争や自然災害による被災地・被災者への救援活動と、これらの活動を通じて次代を担う若者達への地球市民教育を実践することを目的とする認定NPO団体です。



(写真 A)



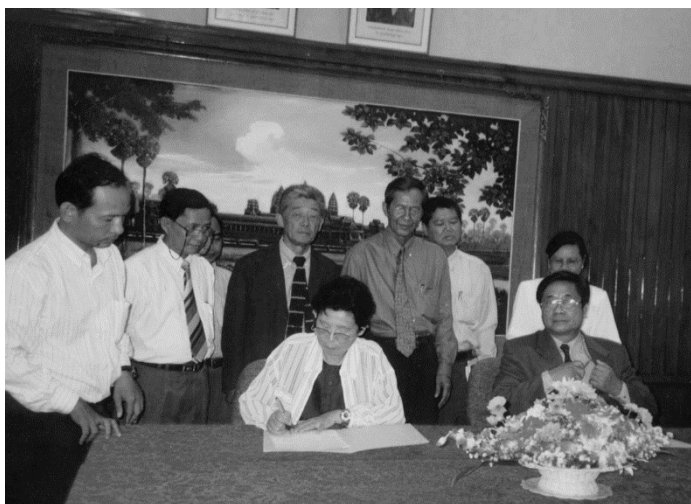
(写真 D)



(写真 B)



(写真 E)



(写真 C)



(写真 F)